

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	17	山越享太郎	1. 教育について (1) 第4次日光市学校教育基本計画について 第3次計画が令和7年度に終了し、令和8年3月から第4次日光市学校教育基本計画が始まりました。 「未来を担うこどもを育てる質の高い教育環境づくり」に向け策定された第4次計画、日光市における現状や課題が分析されており、基本目標は「未来を担い、主体的に学ぶ児童生徒の育成」で、目標に向け様々な施策が書かれています。その中に、「道德教育の充実」という項目があります。 豊かな心の育成には、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養う道德教育はとても大切です。道德が教科化され5年以上がたちました。そこでお伺いいたします。 ①当市の小中学校における道德授業ではどのような内容の取組が行われているのか (2) 特色ある取組について 当市では令和6年4月から「ちょこっとスタバケ日光」制度が導入されています。保護者と一緒に体験や学びの活動を行う場合に、年度内に3日間活動休暇を取得することができ、その日は登校していなくても欠席扱いになりません。子供たちからも大変人気で、他の市町の親からもうらやましがられる制度でもあります。 そこでお伺いいたします。 ①現状と課題について 2. DXについて (1) 業務支援システム「コドモン」について 令和7年2月からおひさま保育園に導入した業務支援システム「コドモン」、園児の登降園の状況を保護者のスマートフォンからリアルタイムで確認できる「登降園管理機能」や、園児が欠席する際、保護者か

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
1	17	山越享太郎	ら園への連絡をスムーズに行える「欠席連絡機能」等を有しています。また、総合行政ネットワークのL G W A N環境に適応していることから多くの自治体で活用されているシステムでもあります。 昨年的一般質問では、「運用状況を見極めながら、発育記録、シフト管理など他の機能についても活用していく予定としている」との答弁をいただきました。そこで伺います。 ①現状と課題について
2	16	斎藤久幸	1. 市長の政策（公約）の自己評価について (1) 市長の政策（公約）の自己評価について 瀬高市長が、日光市長へ就任後1年数か月が経過しましたが、選挙の際に掲げた「地域経済の発展に挑戦」「子育て・教育の整備に挑戦」「医療・福祉環境の整備に挑戦」「まちづくり・過疎対策に挑戦」「観光・スポーツ・文化の発展に挑戦」「行政改革に挑戦」「防災・環境対策に挑戦」の政策実現度の自己評価はどうか。 また、この自己評価を受け、来年度予算にどの様に反映していくのか伺います。 2. 民間人材の任期付職員制度について (1) 民間人材の任期付職員制度について 民間人材の任期付職員制度とは、民間企業での経験や専門知識を活かして国や自治体などの行政機関で働く、または行政の仕組みに精通して官民連携を担う人材で、地域活性化や観光振興などの課題に対応するため、行政の外部から専門スキルを持つ人材を登用する制度で、行政側の利点としては、専門知識をすぐに活用できるといった即戦力の確保、民間流のスピード感やコスト意識、成果主義が持ち込まれ、前例踏襲の文化が刺激されるといった組織の意識改革、事業者や市民に近い目線で政策を立案・検証できるため、より

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分（目安）

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
2	16	斎藤久幸	実効性の高い政策が生まれるといった多様な視点の導入を得ることができると思われます。 そこで次の3点について伺います。 ①現在、日光市はこの制度を導入しているのか ②導入しているのであれば、どの部署に何名配置しているのか ③成果と課題はあるのか 3. 災害時の避難所について (1) 災害時の避難所について 7月28日に、熊本地震が発生し、多くの方々が、避難所等の生活により通常生活と違った生活を余儀なくされております。また、本市においても、1949年(昭和24年)12月26日に今市地震が発生しております。そして、このような災害が発生すると問題となるのが、子ども・高齢者や障がい者など特別な配慮が必要な方々を受け入れる避難所の確保が問題になります。そこで、本市は多くの宿泊施設(ホテル)があることから、宿泊施設との災害包括連携協定を結び災害時に備えるべきと考えるが市の見解を伺います。
3	15	菅田晃章	1. デジタル戦略の推進と市民参加型プラットフォーム「日光版タッチポイント構想」について (1) 日光市の情報発信とデジタル活用について 日光市では現在、第2期日光市デジタル戦略に基づきデジタル化を推進している。市民サービスや地域活動への参加促進という観点から、市民が必要な情報へ容易にアクセスできる仕組みについて、現状と課題をどのように認識しているのか伺う。 (2) 日光版タッチポイント構想について 市民サービス、子育て支援、高齢者福祉、防災、公共交通、地域活動、観光情報などを一元的に提供する「日光版タッチポイント」の構築について、市の見解

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	15	菅 田 晃 章	を伺う。 また、第3次日光市総合計画に掲げる「Social Well-being City」の実現に向け、市民・地域・行政をつなぐデジタルプラットフォームの必要性についてどのように考えるか伺う。 (3) 観光DX及び地域活性化への活用について 日光市は世界遺産や温泉、自然、歴史文化など多様な観光資源を有している。 日光版タッチポイントを活用し、市民向け情報と観光情報を連携させることで、観光DX及び地域経済の活性化につなげる考えはあるか伺う。 (4) 防災DXへの活用について 平常時は地域情報や行政情報を提供し、災害時には避難所情報や道路情報、気象情報等を一元的に発信する防災情報プラットフォームとして活用することについて、市の考えを伺う。 (5) 実証実験及び導入の可能性について 清須市をはじめとする先進自治体の事例を調査研究し、市民や地域団体等のニーズ把握を行った上で、モデル地区における実証実験を実施しながら段階的に導入する考えはあるか伺う。 また、国のデジタル田園都市国家構想交付金や新しい地方経済・生活環境創生交付金等の活用可能性について、市の見解を伺う。 2. 人とペットが共生する国際観光都市・日光の実現について (1) 日光市のペット行政に関する現状と課題について 本市におけるペットとの共生に関する現状と課題、適正飼育、マナー啓発、動物愛護および災害時のペット同行避難等について、市の基本的な考えを伺う。 (2) 市民生活の質を高めるペット共生のまちづくりについて 市民が日常生活の中で安心してペットと暮らせる環

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
3	15	菅 田 晃 章	境づくりについて、ドッグラン、公園、散策環境、地域交流等の整備・充実を図る考えについて伺う (3) 観光行政におけるペットツーリズムの推進について 世界遺産、国立公園、温泉、豊かな自然など、本市の地域資源を生かし、ペットとともに安心して滞在できる観光地づくりを進め、ペットツーリズムを新たな観光戦略として位置づける考えについて伺う。 (4) 市民と観光客が共に利益を得る官民連携について 市民が利用するペット関連施設や地域環境を観光にも活用し、宿泊、飲食、交通、商業等の地域産業への波及効果を生み出すため、観光事業者、地域団体、ペット関連事業者等と連携する考えについて伺う。 (5) 「人とペットにやさしい観光都市・日光」の実現について 市民生活の質の向上と観光振興を両立させるため、ペットとの共生を本市独自の観光ブランドとして位置づけ、推進方針の策定や官民連携による取組を進める考えについて、市の見解を伺う。
4	3	大 島 浩	1. 有料ゴミ袋の材質について (1) 有料ゴミ袋の材質について 平成30年4月に有料化されたごみ袋は、途中、取っ手をつけたものを追加し市民の声に合わせて利便性の向上を図ってきたことと思います。今年度からはフルリニューアルし、デザインと材質が大きく変わりました。市民の皆さんの受け止め方は様々であると思います。今回のリニューアルについて、日常生活に直結する問題であるので、材質やデザインの変更など詳しい経緯を伺います。 2. ニコニコ本陣の現状について (1) ニコニコ本陣の現状について 昨年6月定例会において船村徹記念館の用途変更について質問をいたしました。今年4月からは交流館と

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
4	3	大 島 浩	して運用を開始し、間もなく半年を迎えようとしていますが、交流館の内容と、ここまでの利用状況を伺います。 また、昨年度から運用を開始しているニコニコ本陣の利用者用仮駐車場の利用実績も併せて伺います。 3. 子供に対しての見守りについて (1) 子供に対しての見守りについて 本年4月に京都府南丹市で起きた男児行方不明事件は、我々議員にとって市議会議員選挙の期間と重なるタイミングで起きてしまいました。支援スタッフの中には子育て世代や子育てを経験した世代の方が多数いたこともあり、非常にみなさん関心ごととしてとらえておりました。その中で、子供に対して見守りの工夫をすれば防げることもあったのではないかという意見がありました。まずは日光市として事件に対してどう受け止めているか見解を伺います。
5	19	原 口 真 一	1. 「予防接種に関する基本的な計画」における市の役割の履行について (1) 予防接種のリスクとベネフィットに関する市民への情報提供について 国民一人ひとりが予防接種を受けるか否かの判断は、「予防接種に関する基本的な計画」の中に「自身が納得した上で判断すること」として、情報精査の必要性などが示されている。 しかし、一般の市民が、様々な情報を知り得るには限界があるため、市町村には「実施主体」として、それを支援する必要性も示されている。 そこで、コロナ禍で急速に接種が推進されてきた「新型コロナワクチン」に関する情報提供がどのようなになってきたか、更に今後の方針を伺う。 (2) 「予防接種健康被害救済制度」、「副反応疑い報告制度」の円滑な運用、そのために必要な医療関係者との連携

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一般質問日程 9月10日(木)

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
5	19	原 口 真 一	等について 「予防接種に関する基本的な計画」の中には、市町村の役割として、予防接種に起因する健康被害の救済及び情報の提供と副反応疑い報告制度の円滑な運用についても示されている。 そこで、市では、これらに関する情報提供や円滑な運用をどのように行ってきたか、また、その際、医療関係者との連携はどのように図られてきたか、また今後の方針を伺う。 2. HPVワクチン接種に替わる子宮頸がん検診の助成について (1) 子宮頸がん予防のための「定期検診の受診率向上」に向けた助成制度について 2009年から2011年にかけて承認されたHPVワクチンは、臨床現場において安全性に関する懸念が生じてきたことを受け、2013年には接種勧奨がいったん打ち切られた。しかし、その後の諸研究の結果を受けて、2022年4月には接種勧奨が再開された。 一方、厚労省の推進リーフレットには「重篤な副反応の発生に関すること」や「HPVワクチンを受けても、子宮頸がん検診は必要です。検診を受けることが大切です」といったリスク面や接種後の注意事項について現在も明記されている。 これらの事実を踏まえ、定期的に検診を受けることで前がん病変を発見すれば、極めて高い確率で発症を防げる特異的ながんであるという点や、ワクチン接種者であっても定期的な検診が必要であるという事実を踏まえると、リスクを負ってでも接種するワクチンより、リスクが少ない上、発症予防効果も高い検診の受診率を上げるほうがより効果的ではないかと考える。 そうした観点から、本市では、検診率向上の意義と

開始時刻 1人目：午前10時 3人目：午後1時 5人目：午後2時50分(目安)

一 般 質 問 日 程 9月10日（木）

令和8年9月定例会

発言 順序	議席 番号	発言者氏名	質 問 事 項
5	19	原 口 真 一	ワクチンのリスクとベネフィットをきちんと知らせた上で、ワクチン接種への助成よりも、検診への助成を検討すべきではないかと考えるが、市長の考えを伺う。